

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築CAD 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位		開講時間	水 1～4時限		授業形態	実習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布						
担当教員情報							
担当教員	綱川 大介、齋藤 隆太郎			実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的							
この授業では、CAD(使用ソフト；Vector Works)で図面を描くといった建築を設計・施工する上で必ず必要となる基本的なCAD操作の習得だけでなく、1本1本の線の意味や描く手順、図面としての表現力を身に着けることが目的である。また、CADを利用したプレゼンテーションを学ぶことで、設計・デザインした作品を総合的に表現する向上力を目指す。							
到達目標							
数回に分けられた様々な課題から最終的には自分自身の作品を紙面にまとめ、また一人一人がプレゼンテーションを行うことで、技術的なハードスキル(CAD操作)や話術的なソフトスキル(発表能力)を少しでも身につけ、社会に出てからの実践力の習得を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では短期間で完成できる課題を3～4回に分けて行い、達成感を与え自信をつけてもらう。まず基本である平面図の作図を行い、各部屋の空間のスケール感を養う。建物の図面を描く課題を経て、最終的にはその図面を用いプレゼンテーション図面を作成する。 プロジェクター投影で実際に同じ課題をこなし、出来るだけライブ感を出した授業を行う。最終的には学生自身のみで描く。 またプロジェクターを通して建築の面白さや魅力、素晴らしさを写真や動画、そして我々の経験を活かした授業を行う。						
注意点	休まず出席することが大切である。課題説明時、課題内容だけでなくプリント配布、注意点などをしっかり把握すること。課題は途切れず進んでいくため、欠席すると分からなくなったり、ついていけなくなる。また作図時は、描く線の意味を考えながら進めていくことが大切である。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	出席	50%	積極的な授業参加によって評価する				
	課題	40%	課題提出状況、理解度、出来具合によって評価する				
	平常点	10%	授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	平面図の作成		簡単な平面図の作成(全2回)				
2回	平面図の作成		簡単な平面図の作成(全2回) 提出				
3回	CAD演習		手描きプランをCAD図面におこす				
4回	CAD演習		CAD図面の作成（線種の使い分けを意識）				
5回	CAD演習		CAD図面の完成（提出及び添削指導を受ける）				
6回	有名建築のトレース		建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成①				
7回	有名建築のトレース		建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成②				
8回	有名建築のトレース		建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成③				
9回	有名建築のトレース		建築家自邸の平面図・立面図・断面図の作成④ 提出				
10回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）の図面作成				
11回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）の図面作成				
12回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）の図面作成				
13回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）の図面作成				
14回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）のプレゼンテーション図作成				
15回	設計課題のプレゼンテーション		設計課題（戸建住宅）のプレゼンテーション図作成 提出				